

令和8年9月28日

「原爆の絵」の展示会

～ 広島市立基町高等学校生徒と被爆体験証言者との共同制作の絵画の展示～

広島平和記念資料館からお借りした原爆の絵（広島市立基町高等学校生徒と被爆体験証言者との共同制作の絵画）を展示し、絵画を通じ戦争の悲惨さを感じていただくことで、改めて平和の尊さを考えていただく機会になればと考えています。

開催周知及び展示会取材へのご協力をよろしくお願いいたします。

日 時

・10月8日（木）～10月20日（火） 午前10時から午後8時まで
※10月13日（火）、19日（月）は午後5時まで。10月20日（火）は午後4時まで。

場 所

・浜町ギャラリー（宮津市福祉・教育総合プラザ（ミップル）3階）

内 容

・広島市立基町高等学校生徒と被爆体験証言者との共同制作の絵画

その他

・例年、宮津市の戦没者追悼式が行われる10月に平和啓発展示を行ってきております。

＜参考：過去の展示＞

R3：「原爆の絵」の展示（広島平和記念資料館所蔵資料）

R4：「沖縄戦と基地」の展示（立命館大学平和国際平和ミュージアム所蔵資料）

R6：「引揚」に関する展示（舞鶴引揚記念館所蔵資料）

R7：「原爆の絵」の展示（広島平和祈念資料館所蔵資料）

【担当者のコメント】

戦争や被爆の記憶を直接知る人が少なくなる中、その記憶を次の世代へ伝えていくことが大切になっています。今回展示する「原爆の絵」は、広島県立基町高等学校の生徒が、被爆体験者から話を聞き、対話を重ねながら制作したもので、受け継いだ記憶を絵として表現することで、戦争や原爆の悲惨さを伝えています。作品の中には目を背けたくなるような描写もありますが、絵画を通じて当時の出来事に触れ、改めて平和の尊さについて考えるきっかけにいただければと思います。

お問い合わせ先

総務部 / 総務課 / 総務秘書係

TEL：0772-45-1604

— 高校生が被爆体験を絵に描く —

基町高校の生徒と被爆体験証言者との共同制作による「原爆の絵」

広島平和記念資料館では、広島市立基町高等学校普通科創造表現コースの協力を得て、2007年度（平成19年度）から、被爆体験証言者と同校生徒が共同し、証言者の記憶に残る被爆時の光景を高校生が絵に描き、当時の状況を伝える「原爆の絵」の制作に取り組んでいます。

この取組は、被爆者が高齢化するなか、被爆の実相を絵画として後世に残すこと、そして、絵の制作を通して、高校生が被爆者の思いを受け継ぎ、平和の尊さについて考えることを目的として行っています。

何度も打ち合わせを重ねながら制作される絵は、当時の惨状を克明に描き出すものであり、また、証言者の記憶や思いに高校生が寄り添い、双方の気持ちを共に伝えるものです。

被爆体験の継承の一つの形として、一人でも多くの方に絵をご覧いただければ幸いです。

[制作方法]



① 証言者の被爆体験を詳細に聴き取る。



② 証言者が描くイメージ図や、わずかに残る写真資料をたよりに、構図を練る。



③ 色を重ねながら、光景を忠実に再現していく。



④ 1年の制作期間中、何度も証言者が絵を確認し、直しながら完成を目指す。